

# SURF2026

第10回路面性状に関する国際シンポジウム  
THE 10TH SYMPOSIUM ON PAVEMENT SURFACE CHARACTERISTICS

路面と社会の相互作用におけるイノベーションの推進  
DRIVING INNOVATION OF ROAD SURFACE CHARACTERISTICS AND SOCIAL INTERACTION

ファーストアナウンスメント

2026年11月9-11日  
東京開催・コンgresクエア羽田



JAPAN ROAD ASSOC.

PIARC  
JAPAN



PIARC



## 1. 実行委員長挨拶

SURF (Symposium on Pavement Surface Characteristics、路面性状に関する国際シンポジウム) は、路面性状に関する最新の研究成果や技術の発表・情報交換を行う唯一の国際学術会議であり、1988年の第1回開催以来、ホスト国の団体が主催し、PIARCが共催してきました。このたび、第10回会議 (SURF2026) を東京にて開催できますことを、主催者を代表してご案内申し上げます。本会議のアジア地域での開催は今回が初めてであり、世界各国から舗装分野に携わる研究者、技術者、行政関係者の皆さまを日本にお迎えできることを大変光栄に存じます。

路面は、人と社会をつなぐ基盤であり、その性状は安全性、快適性、経済性、さらには周辺環境にまで大きな影響を及ぼす、本質的な要素です。舗装は社会の移動を支える重要なインフラであり、路面が本来発揮すべき性能を実現する役割を担っています。近年、持続可能性や気候変動への対応、DXの進展などにより、舗装分野にも新しいイノベーションが求められるようになってきました。

今回の会議テーマ「路面と社会の相互作用におけるイノベーションの推進」は、こうした多様な課題に対する取り組みを共有し、議論する場としたいという思いから設定したものです。例えば、代表的な路面性状である平坦性は、乗り心地だけでなく自動車の燃費や救急車の走行速度にも影響し、カーボンニュートラルや人命救助の観点からも重要な指標です。このように舗装技術は社会全体に広い影響を与えており、本会議を通じて多様な立場の皆様から活発な情報発信と意見交換が行われることを期待しております。



現在、ICT・AI・センシング技術を活用した新たな舗装管理技術が急速に進展しています。その影響が広範であることを踏まえると、各国が個別に取り組むだけでなく、国際的な知見の共有や連携を強めていくことは非常に有意義です。また、日本の舗装技術は、高温多湿といったアジア特有の気象条件の下で独自の発展を遂げてきました。日本が長年培ってきた経験や技術は、同様の気候条件を有するアジア諸国の舗装技術の発展にも貢献できるものと考えております。

日本には、奈良・京都をはじめとする神社仏閣など数多くの歴史的建造物が現存し、富士山をはじめとした美しい景勝地にも恵まれています。海外からの訪日客も年々増加しており、SURF2026が開催される11月は、暑さも和らぎ紅葉が美しい、観光にも最適の季節です。本会議への参加と併せて日本各地を訪れ、日本の伝統や文化にも触れていただけましたら幸いです。

本会議が、路面性状に関する技術のさらなる発展と、関係者の国際的な交流を深める場となることを心より願っております。皆様のご参加を、実行委員会一同、心よりお待ちしております。

日本道路協会 SURF2026  
実行委員長  
菊川 滋



## 2.PIARC会長挨拶

世界道路協会（PIARC）を代表し、2026年11月9日～11日に日本・東京で開催されるSURF 2026 – 第10回路面性状に関する国際シンポジウムへのご参加を心よりお待ちしております。

このシンポジウムは、道路・舗装の専門家、研究者、道路管理機関、技術者、実務者、産業界のプロフェッショナルなど、産官学を問わず広く参加を募ります。SURFは、あらゆる利用者のための高品質で安全、持続可能かつ強靱な道路路面の実現に尽力する世界的なコミュニティを結集する場です。

2026年のシンポジウムでは、国際コミュニティが知識を交換し、実践的な経験を共有し、道路交通における舗装と表面特性の進化する役割について考察する絶好の機会を提供します。PIARCの使命に沿い、本シンポジウムでは多様な視点を結集し、路面監視・データ収集の新技术、環境に配慮した路面・リサイクル技術、次世代車両・利用者のニーズといった新たな動向を検討するとともに、道路網を形成する歴史的・文化的側面を評価する場も提供します。本シンポジウムへの活発な応募状況は、この分野の活況と、知識共有・国際協力の機会拡大を続けるPIARCのSURFコミュニティとの連携強化を反映しています。2022年にイタリア・ミラノで開催された前回を含む過去のSURFシンポジウムの成功を踏まえ、この第10回開催は、舗装工学と路面管理におけるグローバルな対話の促進とベストプラクティスの推進に向けたPIARCの長年にわたる取り組みを改めて示すものです。

PIARCを代表し、本重要イベントの開催と準備に尽力された日本のパートナーである日本道路協会、PIARC日本国内委員会、ならびに支援組織及び専門家の方々に心より感謝申し上げます。また、本シンポジウムの技術調整を主導するPIARC技術委員会4.1舗装（委員長：マーゴ・ブリエシク）のリーダーシップに敬意を表します。2026年に東京で開催されるPIARC会議は、世界中の専門家にとって魅力的で先見性があり、影響力のあるものとなることを確信しております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



**PIARC 会長**  
**Emanuela Stocchi**

## 3.会議概要

開催日：2026年11月 9日（月） ～ 11日（水）

会場：コングレススクエア羽田 (<https://congres-square.jp/Haneda/>)

会議公式WEBサイト <https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/surf2026>



## SURFとは・・・

路面性状に関する国際シンポジウム (SURF)は「Symposium on Pavement Surface Characteristics」の略称で、世界道路協会 (PIARC) が共催する国際会議です。道路や滑走路の舗装路面の調査、研究、管理について発表や議論が行われ、1988年から4年ごとに開催されています。主なテーマには、路面性状の点検・調査手法、舗装路面のマネジメント手法、環境への配慮など路面性状に関する基礎的なものから路面が社会に与える影響まで広範囲の課題が含まれます。

回	開催地	開催年	開催月
第1回	アメリカ・ペンシルベニア州	1988	6
第2回	ドイツ・ベルリン	1992	6
第3回	ニュージーランド・クライストチャーチ	1996	9
第4回	フランス・ナント	2000	5
第5回	カナダ・トロント	2004	6
第6回	スロベニア・ポルトス	2008	1
第7回	アメリカ・バージニア州	2012	9
第8回	オーストラリア・ブリスベン	2018	5
第9回	イタリア・ミラノ	2022	9

# SURF2026 1st Announcement

## 4.主催 / 共催 / 後援 / 協賛

**主催**  
公益社団法人 日本道路協会SURF2026実行委員会



**共催**  
一般社団法人 日本道路建設業協会



**世界道路協会PIARC**



**公益社団法人 土木学会**



### 協賛

- (一社) 日本アスファルト合材協会
- (一社) 日本アスファルト乳剤協会
- (一社) 日本改質アスファルト協会
- (一社) 舗装コンサルタント協会
- 東日本高速道路株式会社
- 中日本高速道路株式会社
- 西日本高速道路株式会社
- 首都高速道路株式会社
- 阪神高速道路株式会社
- 本州四国連絡高速道路株式会社
- (一財) 土木研究センター

**後援**  
国土交通省



## 5.全体プログラム

	11月9日 (月)	11月10日 (火)	11月11日 (水)
A M		参加受付	参加受付
		開会式 テクニカルセッション	テクニカルセッション
P M	参加受付	テクニカルセッション	テクニカルセッション
	プレセッション		閉会式
	ウェルカムレセプション	ガラディナー	

※会議公用語は英語  
 コーヒーブレイク、ランチを含む

## 6.論文テーマ

### メインテーマ

「路面と社会の相互作用におけるイノベーションの推進」

### 論文テーマ

- 路面性状の点検および調査手法
- AI を活用したデータ駆動型意思決定支援
- 環境に配慮した舗装およびリサイクル技術
- 舗装の機能と構造の関係
- 表層材料のイノベーション
- 舗装路面に対する次世代自動車と社会のニーズ
- 自転車道と歩道の安全性・快適性
- 舗装路面の歴史と社会的役割\*

\*例：路面性状にみる舗装技術の歴史的変遷，社会文化と舗装路面の進化の関係

## 7.論文募集とタイムライン

アブストラクト締切	:	2025年12月31日
アブストラクト採択通知	:	2026年 2月
フルペーパー締切	:	2026年 4月

論文投稿Webサイト：<https://surf.conf.it.atlas.jp/login>

※会議公用語は英語です

※各アブストラクトは、関連分野の専門家による審査を受け、質の高い論文のみが発表に採択されますので予めご了承ください

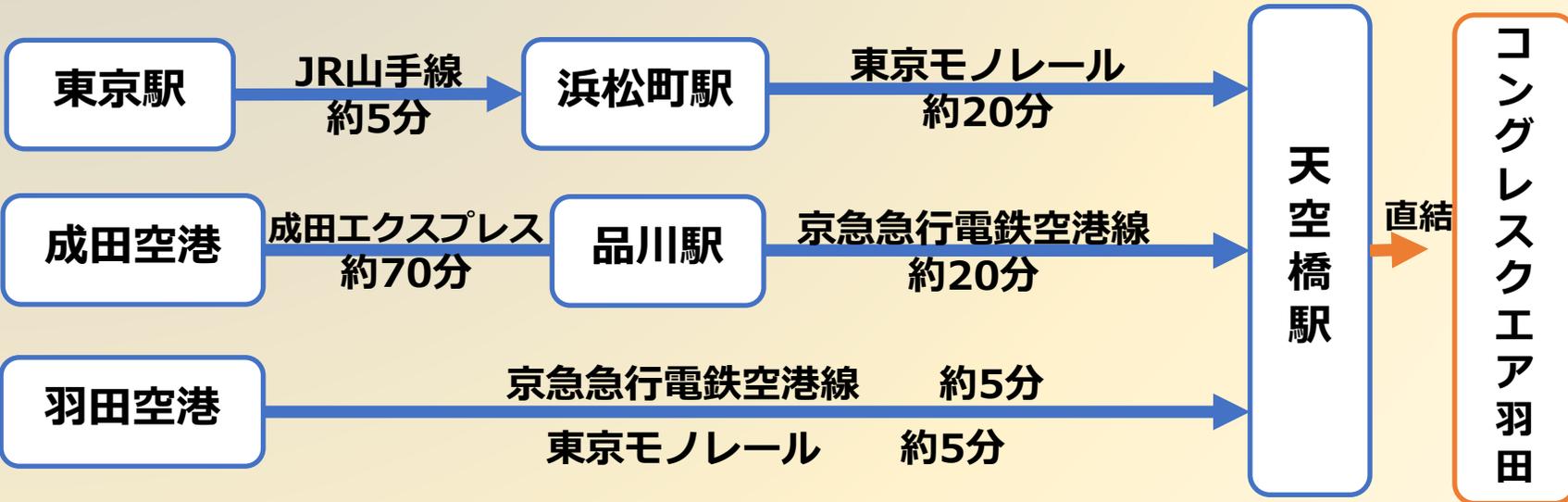
## 8.会場アクセス

会議会場：[**コングレススクエア羽田** ゾーン]  
 (<https://congres-square.jp/Haneda/>)

住所：〒144-0041  
 東京都大田区羽田空港一丁目1番4号羽田イノベーションシティ ゾーン]

### アクセス

京急急行電鉄空港線・東京モノレール「天空橋駅」直結



## 9. 交流行事

### ウェルカムレセプション

日時：2026年11月 9日（月）



### ガラディナー

日時：2026年11月10日（火）



## 10.会議参加費

	早期割引 ~2026年8月31日	通常申込 2026年9月1日~	学生
会議参加費	¥100,000	¥120,000	¥20,000
プレセッション	✓	✓	✓
開会式/閉会式	✓	✓	✓
テクニカルセッション	✓	✓	✓
コーヒースタンド	✓	✓	✓
ランチボックス	✓	✓	✓
ウェルカムレセプション	✓	✓	
ガラディナー	✓	✓	

※同伴者参加費は今後決定

## 11.ホテル案内

**A. 京急EX INN (¥15,000~¥20,000/泊)** <https://www.keikyu-exinn.co.jp/en/hotel/innovation-city/>



**B. ホテルメトロポリタン羽田 (¥15,000~/泊)**  
<https://haneda.hotel-metropolitan.com/>

**C. エアポートホテルJALシティ羽田東京 (¥25,000~/泊)**  
<https://www.okura-nikko.com/jal-city/>

**D. メルキュール東京羽田 (¥25,000~/泊)**  
<https://www.mercure-tokyo-haneda-airport.com/en/>

**E. ザ ロイヤルパークホテル東京羽田 (¥20,000~/泊)**  
<https://www.royalparkhotels.co.jp/en/the/tokyohaneda/>

**F. ヴィラフォンテーヌgrant羽田空港 (¥28,000~/泊)**  
<https://www.hvf.jp/eng/hanedaairport-grand>

## 12.PIARCとは

PIARCは、世界道路協会の略称で、1909年に設立された国際的な非政府・非営利の組織です。

主な目的は、道路と道路交通分野における国際協力の推進と発展を図ることです。現在、125カ国以上が加盟しており、世界道路会議や国際冬期道路会議などのイベントを通じて、道路行政に関する対話と行動を促進しています。

<https://www.piarc.org/en/>

### 道路と道路交通に関する全てのトピックスを網羅

